
リーンスタートアップとは

2013年5月

株式会社アイ・シー・アイ



米シリコンバレー発の**起業や新規事業**の新しい手法

- ・ コストをあまりかけずに
- ・ 最低限の製品やサービス、試作品を作って
- ・ 顧客の反応を見る

とう、サイクルを繰り返すマネジメント手法



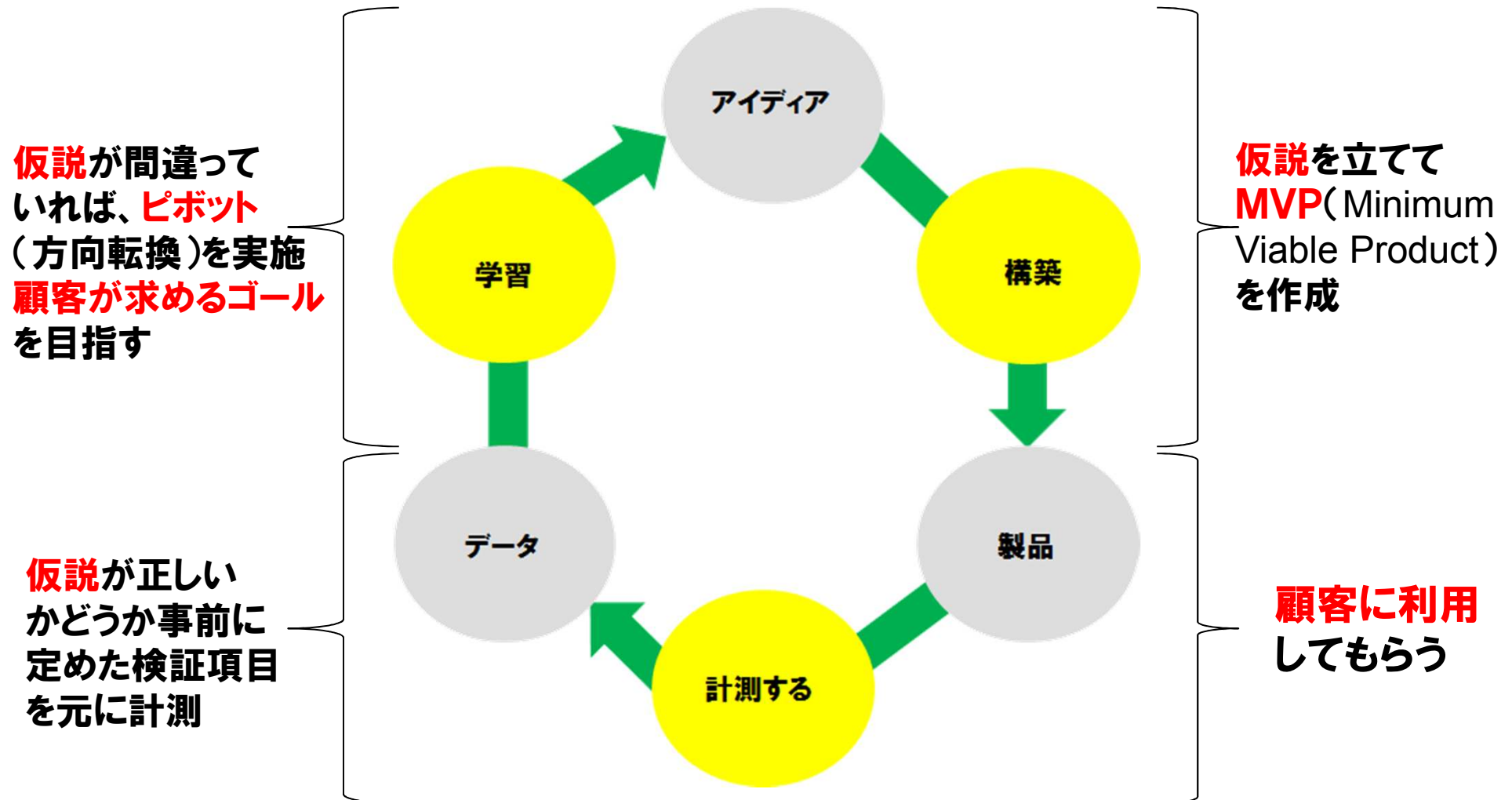
知識

リーンとは日本語で「ムダがなく効率的」という意味で、「カンバン方式」で知られるトヨタ生産方式を他分野に応用できるよう再体系化・一般化した「リーン生産方式」に由来します。

- **コストをあまりかけずに**
- **最低限の製品やサービス、試作品を作って**
- **顧客の反応を見る**

というと、「Just Do It(とにかく行動しよう)」と、とらえられてしまいがちですが、そうではありません！！！！

行動を起こす前に仮説を立てることが重要なプロセスとなります。



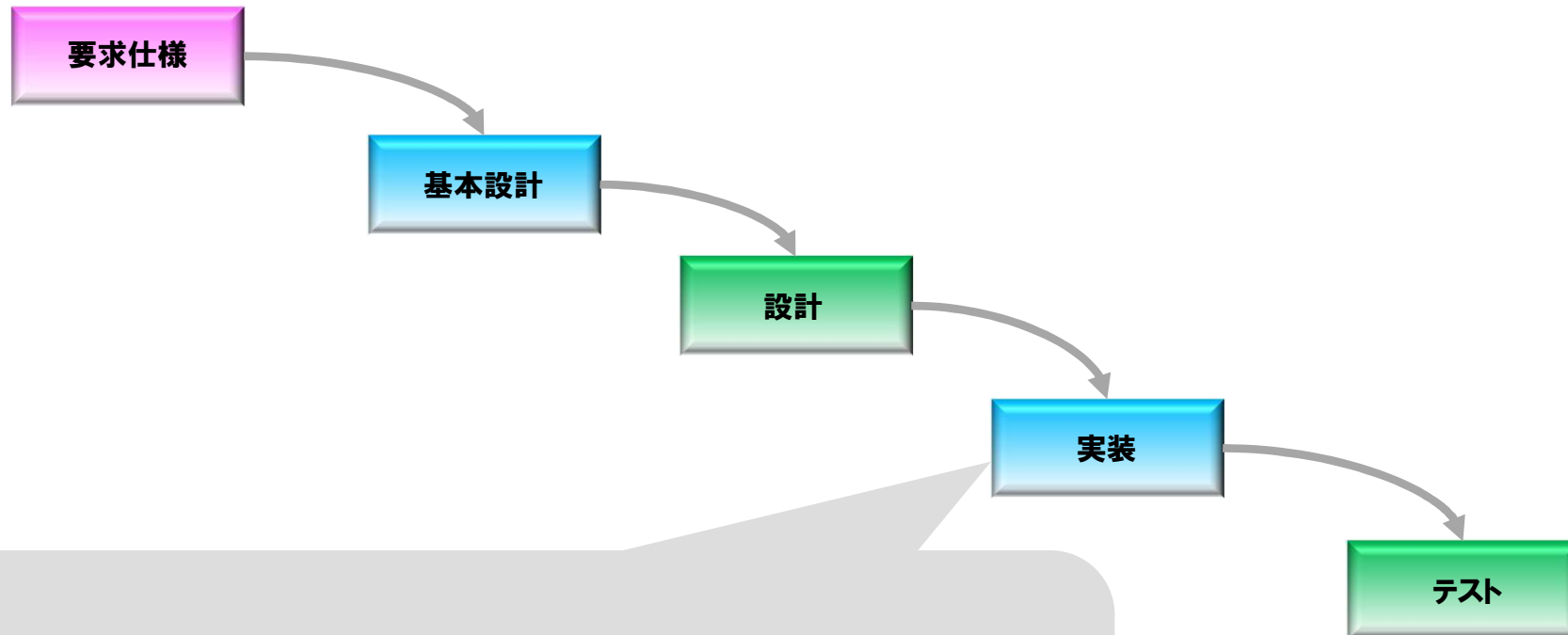
リーン・スタートアップの本質をわかりやすく表現すると「**地図を捨ててコンパスを頼りに進め**」ということになる。

イノベーションに必要なコストが劇的に下がった現代においては、あるプロダクトを生み出すために、それを成功に導くまでの「**地図**」を描こうとすると、その作業だけでプロダクトを開発する以上のコストがかかってしまう。たとえ地図ができたとしても、イノベーションが急速に進むいまの世の中では、プロダクトを開発している途中でゴールが変わり、**地図そのものが陳腐化する可能性が高い**。こうした状況下においてはむしろ**地図などはじめから持たずに、市場の変化を敏感に感じ取るコンパスを手**に、しなやかにプロダクトの方向性を変えていった方がよい。

書籍「[リーンスタートアップ](#)」
MITメディアラボ所長 伊藤穰一

たとえば、システム開発における リーンスタートアップの活用

ウォーターフォールにおける開発



実装段階になれなければ、システムがユーザーの目に触れないため、出来上がったシステムと、ユーザーとの期待値に差が発生する可能性が高い！！

たとえば、システム開発における リーンスタートアップの活用

リーンスタートアップにおける開発



常にユーザーの意見を取り入れながら開発を行うため、設計との乖離がなく、期待値との差は、発生しない！！

※ MVP (Minimum Viable Product)

最小限の機能を備えた製品イメージ、実施に操作できることが望ましいが、画面イメージのみでも可。

某ビジネススクールの講演で、京セラの創業者の稲盛和夫氏が、参加者からの質問に対しての回答です。

「私は将来起業するのが夢です。このスクールで事業計画書の書き方を学んでいるのですが、なかなか上手に書けません。稲盛さんはどのようなことに気をつけて事業計画書を書かれていましたか？」

この質問に対する稲盛氏の回答に、参加者全員が驚きました。

「君は起業したいのだろう？ なぜ事業計画書という嘘の作文を勉強しているのだ？ 私でさえ見えるのは3カ月先ぐらいで、1年後を予測するような事業計画書なんて嘘を書くようなものだ。そんなものを勉強している時間があったら、さっさと事業を始めればいい。始めてから考えれば良い。資金を集めるためにどうしても必要ならコンサルタントに書かせれば良いじゃないか。君がやることは、すぐに事業をスタートすることだ」

Business Journal 鈴木領一



机上の空論より実践の積み重ねが重要！

リーンスタートアップは、実践をよりよく行うために非常に有用なマネジメント手法といえるのではないのでしょうか？